

世話人が決意表明

池田香代子さんは「沖縄高裁判決は司法が行政権に屈しているものであり、怒りをおぼえる。沖縄と連帯を」と、伊藤真さんは「将来後悔しないためにいま声を上げる。市民の声で司法も変わる。戦争法違憲訴訟を戦い抜く」と、山内敏弘さんは「地球のどこまでも出かけて無制限に戦争できる権能を国防軍に付与する自民の9条改憲を阻止するため、九条の会の役割は重要」と力強く訴えられました。

【新しい「九条の会」世話人】(敬称略)

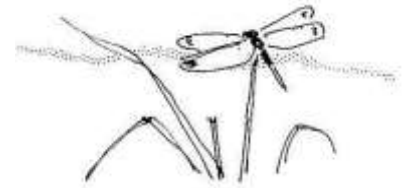
- 愛敬 浩二 (名古屋大学教授・憲法学)
- 浅倉 むつ子 (早稲田大学教授・労働法)
- 池内 了 (名古屋大学名誉教授・宇宙物理学)
- 池田 香代子 (ドイツ文学翻訳家)
- 伊藤 千尋 (ジャーナリスト・元朝日新聞記者)
- 伊藤 真 (弁護士)
- 内橋 克人 (経済評論家)
- 清水 雅彦 (日本体育大学教授・憲法学)
- 高遠 菜穂子 (ボランティア活動家)
- 高良 鉄美 (琉球大学教授・憲法学)
- 田中 優子 (法政大学総長)
- 山内 敏弘 (一橋大学名誉教授・憲法学)

灰色のバスがやってきた

重症精神障がい者、奇型児などには、慈悲心による死(mercy killing)を与えるべきだという非任意の安楽死が、ナチ政権下のドイツで実行されていた事がある。「T4作戦」というやつだ。政府は、生産能力の無い人は国家や社会の敵であり、そうした人を抹殺することが社会的正義とした。

この考え方は「優生学」という学問に基づくという。19世紀後半、ダーウィンの進化論を人間社会にあてはめて考えだされたものらしい(人類の遺伝的素質を向上させること、劣悪な遺伝的素質を排除することを目的とする科学)。ヒトラーたちはこの劣悪素質を心身障がい者などの遺伝子だと考え、排除していった。やがてその対象はユダヤ人たちへとシフトしてゆく。こんな事が起きた為、優生学は廃れてしまった。いや、20世紀初頭には数多くの支持者が世界の各地にいたはずだ。

(神戸市東灘区 山田 章)



10・21 国際反戦デー 芦屋地区連帯集会

日時:10月21日(金)18時～
会場:芦屋市役所前北広場

1966年10月21に旧総評が行ったベトナム反戦ストを嚆矢として、芦屋では50年間毎年集会・デモを実施しています。今年も、芦屋「九条の会」など4団体により開催します。「戦争法の発動を許さない」と、市民に訴えます。どなたでも参加できます。(詳細は同封チラシをご参照ください)



今こそ知ろう自民党改憲草案

日時 10月15日(土)

14:00～16:30

場所 芦屋市民活動センター

講師 川元 志穂さん(弁護士)

参加協力費 500円(学生無料)

憲法はいま、大きな分かれ道にたっています。参院選結果を受けて、安倍政権は公布70年を迎える日本国憲法を変えようとする動きを強めています。そのたたき台になると言われているのが、2012年4月27日に自民党が発表した「日本国憲法改正草案」です。この自民党改憲草案をあらためて知るとともに、憲法について一緒に考えてみませんか？